情報処理学会 計算機アーキテクチャ研究会

2015年度 第2回 運営委員会 議事録（案）

**日　時：** 2015/01/30（金）12:30～13:30
**場　所：** ARC206@慶大（IEICE-ICD連催）会場

**出席者**（敬称略）**：** （主査） 五島，（幹事） 小野，津邑，三輪，山下，（委員） 青木，荒川，石坂，岩崎，葛，後町，佐藤，柴田，高畠，千代延，東條，中田，新田，渡邊

**審議事項：**

1. CPSYとの連携強化について
2. 研究会 担当 運営委員について
3. ACSIの主催について
4. ACSI後の検討
5. その他

# CPSYとの連携強化について

信学会CPSYとの連携強化について，五島主査から報告があった．

* 来年度以降，できる限り多くの研究会を連催（もしくは，併催）としていく予定．それに合わせて，今年度 共催・連催している研究会の構成を見直す．
* 減っていくパイを2つの研究会で争うことは意味がない．
* 初期的には，LA，投稿論文募集などの運営側の負荷の軽減を目的とし，できることから徐々に，最終的には一体運営を目指す．
* ゆくゆくは，情処と信学会の一体化に向けて，ボトムアップに実績を積む．
* 運営委員会からの反対意見なし → 決定．

なお，本委員会の終了後に，CPSY現委員長・来年度委員長を含む幹事団との会合が急遽開催され，上記方針について合意し，連催について以下のように検討した．

* 連催の検討対象とするのは，10月単独 → CPSY＠CEATEC，なし → 3月ETNET，5月w/ OS＠沖縄 ← 4月CPSY・DC・RIS．
* 10月CEATECは，参加費を徴収できない仕組みなため，可能かどうか情処と検討する必要がある．
* CANDAR 2016に協賛する．
* 12月HOKKEは，CPSY側がCANDAR等で忙しく，（こちらもMICROがあり）日程調整困難．HOKKEの日程変更も視野に検討する．
* w/ ICDは，来年度は1月には開催しない．5月LSIとシステムのワークショップの後を検討する．

# 研究発表会 担当 運営委員

主に，運営委員の研究会に対するコミットメントを増すために，運営委員のみなさまに研究発表会に関して，各回担当幹事をお願いする．

* 幹事団で検討したところ，幹事の仕事の肩代わりは難しい．研究会への出席と，座長，受付等をお願いする．
* （SWoPPを除く）年1回程度の研究会を事前に指定し，日程調整から参加して，出席する．
* （企業の人が出張しやすいように）担当運営委員はプログラム等に名前を記載する．
* 来年度研究会の日程が流動的なため，来年度はじめからの開始は難しいかも．
* 委員からの反対意見なし → 決定．

# ACSIの主催について

五島主査から，SACSIS → ACSIへの経緯と，ACSI開催の結果の説明があった．

## 結果と問題点

* アーキテクチャ分野の自主的な投稿はほぼ0であり，ARCコミュニティに限らず，日本のアーキテクチャ分野全体として，ACSI型の会議に対するニーズがないことが実際に確認された．
* 英語で記述された論文を，国際会議に投稿する前に1回ACSIに投稿するというステップを踏むよりも，とにかく国際会議に投稿して査読コメントを得ることの方が，採録への近道である．
* ターゲットとなる国際会議は年数回あるのに対して，年1回しか開催されないACSIに投稿するために投稿時期を調整することはあり得ない．
* ACSIの投稿時期は，この分野の重要なカンファレンスの1つであるHPCAのそれと前後している．実際，HPCAに何件か投稿されたことは確認している（うち1件は採択された）．HPCAとACSIに同時に投稿することは，リスクはあるが，メリットはない．
* 主催研究会となれば研究会としてコミュニティの方々に相応の貢献をお願いすることになるが，ニーズがないにも関わらずそのようなお願いはできない．

## その他の影響

* 以前「日本語ならSACSISに出せたレベルの論文」がどこにも出せなくなっただけで，英語論文が増えたとは言えない．修士の学生では，なかなか英語の論文を書くまでに至らない．
* ACSも，ARC系の投稿は激減した．投稿0の回も少なくない．SACSIS → ACSという道が断たれたからで，OS，HPCがそれほどでもないのは，ComSys，HPCSがあるからかも．

## 今後の方針

* 次回ACSIの主催研究会とはならない．ACSI-SCから回答を求められており，そのように回答する．
* 委員からの反対意見なし → 決定．

# ACSI後の検討

* 日本語会議？
* FITの査読付きカテゴリを活用する？ ただし，次回は間に合わない．
* ARCで新たに日本語の会議を作る？
* ComSys，HPCSなど，他の研究会が主催している日本語の会議に入れてもらう？
* CPSYは，MCSoC，HEART，CANDARなど，国際会議を作る方針で既に動いており，日本語の会議を作るという話をしても乗ってくることはなさそう
* 教育
* いきなり英語で論文を書かせても，英語の直しに終始して，内容にまで至らない．書けることしか書かず，英語能力に思考そのものがバウンドされる．
* 一部の大学では，英語で，インパクトファクターがつく会議のみに投稿するように大学から強く要請されている（文科省の方針）．日本語論文，インパクトファクターのない論文は，業績としてカウントされない．
* 新たに日本語会議を作ることは，是非はともかく，流れには逆らっている．
* がんばって英語で論文を書く教育をする以外なさそう？

# その他

* この3月で任期終了となる委員の後任について．企業の方には企業内での後任を選定してもらっているが，アカデミアは幹事団で選定し，依頼中．
* 次回，運営員会は，SWoPP＠別府の予定．

以上